

手術場ニ於ケル助手規則

A. J. Ochsner: Systematized operating room Assistance. Surgery, Gynecology and Obstetrics. Vol. XXXIX, No. 5.

亞米利加及外國ニ於ケル多クノ外科「クリニツク」ヲ巡ツテ方々ノ手術室ノ醫員ノ働き模様ヲ見テ面白い觀察ヲシタ、或ハ「クリニツク」デハ若キニ似ズ熟練デ良ク間ニ合ツテ居リ他ノ「クリニツク」デハ一向役ニ立タズ更ニ又他ノ所デハ寧ロ無キニ如カズト云フコトヲ發見シタ。

又原トハ同ジ學校ノ同級生デアツテ卒業後色々ノ別個ノ外科「クリニツク」ニ奉職シテ訓練サレテ居リ乍ラ或ル「クリニツク」デハ優秀ナ職役ヲ果タシ他ノ「クリニツク」デハ遙ニ劣等ナノヲ自分ハ見タ。

其原因ハ醫員ノ性質、習慣、才又ハ能力等ノ如何ニアルノデハナクテ當該外科「クリニツク」ノ主腦ガ其醫員ニ對シテ取ル引立ノ如何、殊ニ其醫員ヲシテ習熟セシメ得ル様ナ精確ナ法則ヲ立テ彼等ヲシテ之ヲ遵奉セシメル主任ノ技倆如何ニアルト自分ハ思フ。

自分ノ「クリニツク」デハ重要ナ規則ヲ簡單ナ箇條書ニシテアル、而シテ「クリニツク」デ毎週開催シテ居ル會議ノ時ヤ新ラシイ醫員連ガ「クリニツク」ヘ入ツテ來タ時ノ最初ノ會議ノ席上デ醫員連ト之ヲ討議シテ居ル。

間ニ合フ醫員ヲ養成スルニハ每週會議ヲ開キノシテ服務規則ヲ遵奉セシムル様ニスルヨリ他ニ價值アル方法ハ無イ。次ノ規則ハ自分ガ「オーガスタナ」病院デ年來實行シテ居ルモノデアル。

一、術者ガ仕事ノ爲易イ様ニ手術ニ意ヲ注ギ傳染ヲ除ケ、
二、麻睡ノ始メカラ患者ガ病室ニ歸ル迄假令一分時ト雖モ時間ヲ浪費スルナ、

三、手術前、手術中及手術後ノ患者ノ状態ニ注意セヨ、
四、全手術ヲ通ジテ手術ノ階梯ヲ豫想シ各階梯ノ理由ヲ定メヨ、
五、常ニ組織ヲ損傷スルコトヲ避ケヨ、

- 六、組織ニハ器械ヲ以テ觸レ手ヲ觸レテハナラナイ、
- 七、組織ヲ壓シタリ牽裂クコトノ無イ様ニ鉗子ヲ使ヘ、
- 八、組織ヲ穩カニ引ケ、暴力ヲ用ウルナ釣ノ滑リ脱ケヌ様ニセヨ、
- 九、出血面ニ向ツテハ綿紗ヲ以テ壓セヨ擦ツテハイケンイ、
- 一〇、自分ガ當テガツタ器械ハ必ズ自分デ扱ヘ、之ヲ他人ニ委スナ、
- 一一、縫合糸ヲ餘リ堅ク絞メテ壞疽ヲ起スコトノナイ様ニセヨ、
- 一二、縫合ノ際ニハ創面ノ兩側ヲ同ジ様ニ摺ムデ創面ニ直角ニ針ヲ通セ、
- 一三、精密ニ然シ敏速ニ仕事ヲ爲シ時ヲ浪費スルナ、
- 一四、繃帶ヲ施ス時分ニモ手術ノ時ト同ジ様ニ傳染ニ對シテ注意ヲ拂ヘ、
- 一五、繃帶交換ヲハル時ニモ手術時ト同様傳染ニ注意セヨ、
- 一六、繃帶ヲスル時分ニ傷ヲイデツタリ壓迫シタリスルナ、

- 一七、消毒ノ信念ヲ養ヒ常ニ敢テ忘ル、コト勿レ、
- 一八、節約ノ良心ヲ養ヒ常ニ之ヲ忘ル、コト勿レ、
- 一九、若キ助手ヤ看護婦ニ各種ノ浪費ヲ避ケル様ニ教ヘヨ、
- 二〇、麻睡ノ始マル前ニ患者ヲシテ餘リ長ク待合室デ待タセルナ、
- 二一、明日ノ手術ヲ計畫シ總テノ細事迄モ念頭ニ置ケ、
- 二二、夫々ノ場合ニ於ケル病歴診斷、處置及病理ニ就テ良ク知ツテ置ケ、
- 二三、入院時カラ退院スル迄個々ノ患者ニ就テ親シク興味ヲ持テ、
- 二四、治療上ナリ編成上ナリノ如何ナル誤リデモヨク留意シテ之ヲ會議ノ席上ニ報告セヨ、
- 二五、仕事ノ基本計畫ヲ追從セヨ、絶ヘズ技術ナリ計畫ナリヲ改良スルニ心掛ケヨ、新技術ハ注意シテ考ヘ會議デヨク商議セラル、迄ハ之ヲ實地ニ行フナ。(河村自抄)